
Last year ~ 東日本大震災編 ~

MAX600

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Last year ～東日本大震災編～

【Nコード】

N2198U

【作者名】

MAX600

【あらすじ】

いつも通りの日常が突如大きすぎる地震によって崩れる。そして数日後、日本人の協力しあう力ですぐに復興していく。しかし、ある場所では異常な変化が現れていた・・・！？とある高校生たちが送る、ミステリーな物語、ご賞味あれ！！

還ってきた日常（前書き）

初めての投稿なので、見辛いなどの不満多々あると思います。
少し長めですが、ちょこちょこ続き書いていくので、よろしく願
いします！！

還ってきた日常

【ある日、石を拾った。何の変哲もない石だった。少年たちは別々の形の石をそれぞれ持ち帰った。・・・・・・。そしてその石の持ち主は夢を見る。永久に覚めぬ夢を・・・・。】

8月1日、地震の影響で夏休みが延期してしまった。しかし、とうとう俺たちにも長い休みが手に入ったのだ。学校がないからと言って暇になるほど、俺はクサレではない。

「さ、いつもの場所に行くか・・・。」

そういつて俺は、少し笑みを漏らしながら走っていった・・・。

学校から少し走ったとこに昭和スタイルな公園がある。土管に井戸、まさに昭和だ。俺たちはいつも学校が終わるところで遊んでいた。今日もその予定だ。

「遅いぞ、ジロン！」

公園に着いた瞬間、遊び仲間の声がした。

「みんな早いね〜」

「たりめえだ！俺様はココで遊ぶのが1番の楽しみだかなー！」
元氣いっぱいの少年こそ、我らのリーダー「ボス」こと、「三舟俊丸」だ。

「学校での生活をおろそかにすると、将来痛い目に会いますよ？」
冷静沈着の少年、頭がいいから「首席」と呼ばれており、本名を「工藤晃」と言う。

「ハハ！言えてるね！ボスは成績悪いもんね！」

「うつせー！お前も俺とたいして変わんねえじゃねえか！」

今怒鳴られたほうが、イタズラ好きの少年、「サル」と呼ばれる「木山猿吉」。

「みんな相変わらずだなあ」

そしてこの俺、「ジロン」こと、「神名次郎」。得に何のとりえもない、いわゆるフツの奴だ。

「あとは、アイツだけだな！」

ボスが仕切るように、大声を出す。その声に反応するように、1人遠くでこちらに向かって走り出した。

「ごめ〜ん、遅れちゃった」

最後の1人、俺たちと遊ぶ女子「工藤玲」が走ってやってきた。

「みんな待っちゃった・・・？」

玲が気にしたように言うと、

「玲、だい・・・」

「いーや！今みんな来たところだぜ、玲ちゃん！」

晃の言葉がボスの大声でかき消された。

「そうなの？じゃあ、大丈夫だね」

「おう！安心してくれい！」

ボスはホントにこの遊びが好きと見える。ほんの30分の遅れも気にしないなんて。

「次郎君も気にしてない？」

「あ、う・・・。」

返事を返そうとしたら、

「さて、今日の遊びを発表するぞ！」

またボスの大きな声でかき消された。たまには静かに喋ってもらいたいものだ。

「つい最近大きい地震があつたら？その影響だと思うんだが、井戸に大きな横穴が開いてたんだ！今日はそこに潜入するぞ！！」

「・・・おー！！」「・・・」

遊びはたいがいボスが決め、たまに他の人が決める。そうしてちょうどいいバランスが生まれる。

みんながゆっくり、井戸に降りていく合間にさっき言いそびれたこ

とを玲に伝えておこう。

「玲、さっきのことなんだが、俺は気にしなかったぞ？」

「あ……。うん、わざわざありがとう……。」

なぜか玲は少し顔を赤くしていた。何か思い出したのだろうか？

「早く降りてこいよ2人ともー!!」

サルの声がする。

「あ、うーん！今スグ降りるよー!!行こう、玲」

「うん！」

少し急ぎめに井戸の中に降りていく。

まだ、このときは何も知らない。

早急に引き返すべきだった……。

還ってきた日常（後書き）

どうでしたでしょうか？まだまだ未熟ですが、頑張りたいと思います！

感想、アドバイスなどをどしどしおっしゃってけると助かります！

みなさんの書き込み、お待ちしております！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2198u/>

Last year ~ 東日本大震災編 ~

2011年10月9日09時03分発行